

ニホンナシジョイント栽培における品種別の側枝利用年数

「凜夏」、「甘太」のジョイント栽培における側枝は3年枝まで利用できる

背景・目的

- ニホンナシは品種によって側枝から出る短果枝（花芽）の維持可能な年数が異なります。
- ニホンナシにおいて、近年導入が進んでいる品種及び主要な品種をジョイント栽培し、品種別に側枝の利用可能年数を調べました。

成果の内容

- 近年導入が進んでいる「凜夏」と「甘太」の側枝は3年枝まで利用できます（図1、図2）。
- ニホンナシの主要な品種である「豊水」、「幸水」、「あきづき」の側枝は2年枝までの利用が望ましい結果となりました（図1、図2）。

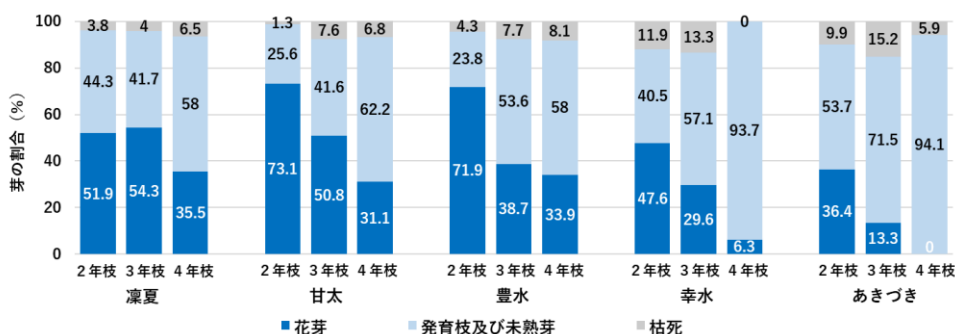


図1 品種別の側枝年齢における芽の割合（2022年）

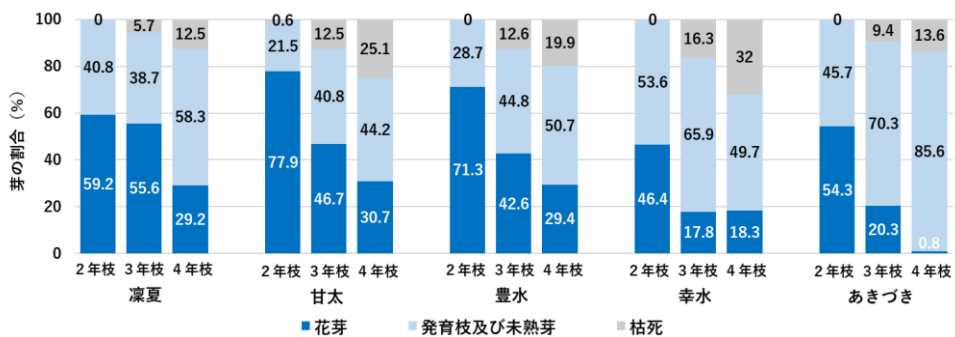


図2 品種別の側枝年齢における芽の割合（2023年）

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ニホンナシジョイント栽培における品種別の栽培管理の参考資料として活用できます。

留意点

- 本調査では、利用可能な側枝を、花芽割合50%程度としています。
- 品種別の側枝利用年数の傾向は、慣行仕立てと大きく変わりません。
- 「豊水」の3年枝は、花芽割合が40%程度なので、結果枝が少ない場合は利用します。